

特集

市民マラソン大会、転換点に

本誌調査 コロナ前より9割が参加費引き上げ

6

第2特集

首都圏外への貢献、日本大が首位

大学の地域貢献度調査 インターンシップ派遣最多

18

2	上田理恵子の直言
4	ニュース&インサイド 宇都宮でLRT新路線開業
5	霞が関 底流伏流 (経済産業省) 準備遅れる大阪・関西万博 非常事態に泥縄人事
28	グローバルインタビュー 地方から国の財政の在り方を考える首長の会会長 中山 泰氏
31	渋沢栄一にみる地方創生 井上 潤氏 精神的支柱による地域振興
32	研究 トップランナー自治体 北九州市 環境先進都市、脱炭素で進化探る
38	レポート 大阪の2町1村「令和の大合併」の呼び水となるか
40	Business to Local 人材紹介サービスのCompass
42	キーパーソン 中小企業庁経営支援部創業・新事業促進課長 伊奈 友子氏
44	自治体財政 改善のヒント 鈴木 文彦氏 コンセッション事業の評価における課題
46	自治体運営「転ばぬ先の杖」 定野 司氏 払戻率が5割と低いのに宝くじはなぜ売れるのか
48	レポートする観光振興 山田 雄一氏 中小事業者の競争力高め外資に対抗

50	こどもまんなか社会へGO! 小石 勝朗氏 秋田県大館市 幼保小連携
52	地域で担う社会保障 浅川 澄一氏 「お金」政策より雇用慣行の見直しを
54	データと対話の政策形成力 平尾 勇氏 乱高下する訪日外国人マーケット
56	自治体DX基礎講座 高橋 邦夫氏 従来の個別最適から全体最適へ
58	大学、地域を拓く 宇都宮大学 データサイエンスと経営を一体的に学習
60	Interview 首長 富山県砺波市長 夏野 修氏
61	ニュース・ウォッチング
66	Book Review/バックステージ



〈表紙の写真〉横浜マラソン、2万3000人が港町を疾走

2023年10月29日、約2万3000人のランナーが横浜の名所などを走る「横浜マラソン」が開かれた。小雨の中、フルマラソンは横浜ランドマークタワー前を出発し、パシフィコ

横浜臨港パークまで走った。

今回は新型コロナウイルスによる出走者や声援の束縛を受けないリアルな大会だ。走者には「ラッキー給食」という名称で銘菓「ありあけの

ハーバー」や豚まんを提供。5000人を超えるボランティア（上の写真）も参加し、大規模な大会を支えた。（文＝竹蓋 幸広、写真＝横浜マラソン組織委員会提供）